



1年生のみなさん、こんにちは。中間考査も終わり、涼しくなってきました。それぞれのクラスでは、来週の名東祭に向けて着々と準備をすすめているのではないかと思います。

先週の金曜日、中間考査の最終日の2時限目、教務部と進路部から科目選択と「進路希望調査」に向けて、みなさんにお話をしました。名東祭も重要ですが、自分の将来のことを考えることも重要ですので、担任の先生や保護者の方と相談しながら、しっかり時間をとって考えてもらいたいと思います。



## ◇◇◇ 大学入試のしくみ ◇◇◇

### ① 国公立大学－一般選抜で定員の8割を募集

国公立大学に入学するためには、2つのハードルを越える必要があります。一つ目は、1月に行われる「大学入試共通テスト」。マーク式の試験です。二つ目は、「2次試験（個別学力検査）」です。ほとんど大学で、記述式+論述式の試験となっており、思考力や表現力が求められます。2次試験は「前期日程」と「後期日程」と、募集人員を振り分けて選抜されていますが、近年、難関大学や医学科では「後期日程」が廃止・縮小されており、受験生にとっては志望校選択の範囲が年々狭まっています。

### ② 私大入試－多種多様な一般選抜

2月上旬から私大の一般入試は始まります。それぞれの大学が作成する「個別試験」や、共通テストを利用したり資格試験を活用する入試もあり、多様な選抜方式があります。

### ③ 推薦入試－学力も求められる推薦入試

推薦入試には、「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」の2つに大別されます。ここでは、紙幅の都合でポイントだけ記します。一つ目は、大学が求める人物像に合致しているか否かということ。これは、志望校のホームページで確認しましょう。二つ目は、成績です。とくに「学校推薦型選抜」では、1年から3年までの成績が求められるので、日ごろの学習を大切にしましょう。三つ目は、学力です。いま、推薦入試でも、ガッツリ学力を求めています。推薦入試で入学しても困らない学力を身につけるようにしましょう。

## ◇◇◇ いま、何ができるのか？ ◇◇◇

科目を選択したり、「進路希望調査」を書いたりする（実際に希望する進路をかなえる）ために、いま、みなさんに何ができるのでしょうか。

### ◆ 志望校＝「ゴール」を設定しよう！

みなさんは、大学に行って、何を学びたいですか？ 志望校を考えるにあたって、まずそれを考えることとなります。もちろん、将来就きたい職業が決まっている人は、そのために何を学ばなければならないのか、考えればよいでしょう。その際、目標とする大学を「広範囲」から探し、できるだけ「高く」設定すると、自分の可能性が広がると思います。

次に、入試科目を調べてみましょう。可能であれば、入試での配点も調べてみて下さい。たとえば、名古屋大学経済学部の場合、共通テストが900点、2次試験が1500点の計2400点満点です。2次試験の配点が大きく、記述・論述力が求められます。さらに、英語の配点は、共通テストが200点、2次試験が500点の計700点です。数学も同じです。ということは、英語や文系であっても数学に力を入れて勉強しなければ、合格はおぼつきません。こう考えれば、自ずと選択しなければならない科目は決まってくるのではないかと思います。

### ◆ 学校の授業に真剣に取り組もう！

5月に発行した『進路だよりNo.01』に、「『学校の授業を大切にする』『毎日コツコツやる』『覚えるのではなく、理解する』。この3つは、何も特別なことではありません。特別なことをしなくても、当たり前のことを続けていけば、自然と希望する大学に合格する力がついてくるのです」と書きました。高校に入学して半年、これを実践しているでしょうか？

とくに部活動に入っているみなさんには、時間を少しでも有効に生かすために、学校の授業に真剣に取り組んでほしい。そのためには、十分な睡眠時間をとるなど、生活のリズムをつくるのが重要です。夜遅くまでスマホを使っていますか？ 夏休みが終わっても、しばらく「分散登校」や「オンライン授業」が続き、自宅にいる時間が長くなり、すっかり生活のリズムが崩れてしまった生徒がいるとの話も耳にします。いま一度、メリハリある生活を送るようにしましょう。



### ◆ 模試や学校説明会に参加する！

11月11日（木）に「学びの基礎診断」を実施します。高校に入ってからこれまでの学びの到達度を診断します。7月にも実施しましたが、そこから実力がどう伸びたのか？ それをはかります。それとともに、みなさんの「強み」と「弱み」を把握してもらいます。とくに弱点については早めに先生に質問して克服するようにしましょう。また、1・2年生のうちに志望校の情報を学校説明会やホームページなどで得るようにしましょう。

## ◇◇◇ 2025年度共通テストについて ◇◇◇

1年生のみなさんが共通テストを受験するのは、2年後の2024年1月です。ですから、多くのみなさんにとっては、2025年度の共通テストは関係ありません。ところが、2024年度入試に失敗し、浪人することになったときにかかわってくるので、簡単に情報提供しておきます。

学習指導要領が変わるのにもなって、来年度入学する高校生から新しいカリキュラムがはじまります。名東高校でも、来年度の1年生は、みなさんとは異なり、「歴史総合」や「公共」といった、新しい科目を学ぶことになります。

大学入試はどうなるのでしょうか？ もちろん来年度の入学生が受験生になるときに大きく変わります。以下の3点、変更が予定されています。

- ◆ 「国語」の試験時間が、現在の80分から90分に10分延長されます。
- ◆ 「数学②」の試験時間が、現在の60分から70分に10分延長されます。
- ◆ 教科「情報」も入試科目として課す大学があります。試験時間は60分。

3つ目の教科「情報」については、全国で87大学が、共通テストか個別試験、または両方で課す意向を示しました（『朝日新聞』2021年9月20日付け）。

### 共通テストで「課す・課す方向」と回答

秋田大、群馬大、金沢大、福井大、名古屋工業大、大阪教育大、九州工業大、公立諏訪東京理科大、獨協大、国学院大、中央大、立教大、関東学院大、桃山学院大など

名東生が受験する大学としては、名古屋工業大学が共通テストで教科「情報」を「課す・課す予定」である点は気になるところです。みなさんは、「情報」を1年生でしか学ばないので、名工大志望で、もし浪人した時には、共通テストで「情報」も受験しなければならなくなるので、今のうちに、しっかりと取り組んでおくようにしましょう。

現時点では、大半の大学が「検討中」と回答しました。今年の11月に国立大学協会（国大協）が教科「情報」の扱いについて方針を出す予定となっており、その方針にもとづいて名古屋大学など多くの大学が決定すると考えられます。今後、「進路だより」でも教科「情報」の情報を発信していきますので、注目してください。

また、浪人した場合は、もちろん「歴史総合」や「公共」などを学んでいないわけですから、どうなるのかと言えば、文部科学省は、以下のように対応すると言っています。

- ◆ 地歴・公民、数学①②、情報も高卒生への経過措置問題を作成します。
- ◆ 2022年度中に試作問題を公表する予定です。

平たく言えば、「地歴・公民」「数学①②」「情報」については、1年間限定で浪人生向けの問題を作成すると言っています。ですから、高校生の時に学んだことがムダになることはありませんので、安心してよいのではないかと思います。ただし、教科「情報」については、現在、試験が行われていませんので、過去問がない点は要注意で、来年度に公表する予定の「試作問題」に注目することが重要です。

# Information

## ① 名古屋市立大データサイエンス学部（仮称）、開設を予定！

2023（令和5）年4月に名古屋市立大学に新しく「データサイエンス学部」が開設される予定であることが新聞報道されました。現在の高校2年生から受験することができます。

専任教員は14名、学生定員は1学年80名となっています。現時点では、入試科目については発表されていませんが、現在、横浜市立大学や滋賀大学などのデータサイエンス系の学部は人気の学部となっているので、東海地区初の注目の学部です。

## ② 愛知県立大外国語学部、改組！

これも現在の高校2年生が受験するときからの話になりますが、現在の愛知県立大外国語学部ヨーロッパ学科のなかの「スペイン語圏専攻」が新たに「スペイン語・ポルトガル語圏専攻」と改組されます。その背景としては、愛知県から静岡県にかけて中南米系の外国人労働者も多く、ポルトガル語の需要が高まっていることがあるのではないかと考えられます。

従来、「スペイン語圏専攻」では定員が45名だったのに対し、「スペイン語・ポルトガル語圏専攻」では定員が55名と10名増えます。その代わりに、英米学科の定員が100名から90名へと10名削減されます。名東高では、英米学科を受験する生徒も少なくないので、英米学科を志望するみなさんは、合格するためにしっかり実力をつけてほしいと思います。

## ③ 名東高×名市大 連続歴史学ゼミ、いよいよ来月開講！

大変長らくお待たせいたしました。新型コロナ感染拡大にともなう「緊急事態宣言」が発出されていた関係で、開講が延期されていた名市大の吉田一彦特任教授による「連続歴史学ゼミ」を、来月17日から開講します。吉田特任教授には、原則毎週水曜日16時から1時間程度の講義をお願いしています。講義の内容については、後日、チラシを教室掲示しますので、そちらをご覧ください。申し込みは名東祭が終わった後の10月29日（金）から行いますので、進路室まで来てください！

今回、新たに2回の「特別企画」を設定しました。「特別企画」については、別途お知らせをし、募集を行いますので、よろしくお祈りします。

なお、来年2月までの12回にわたる連続ゼミですが、興味・関心のある日だけの受講や当日の飛び込みの参加も大歓迎です。みなさんの積極的なご応募を、お待ちしております！

